

金利上昇懸念が高まる時代の切り札

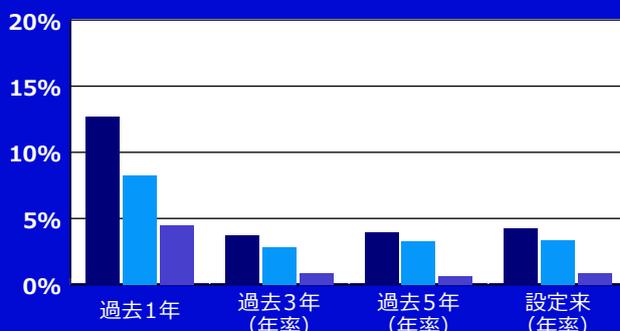
## インベスコのバンクローン運用

### 設定来で安定したリターンを獲得

#### 運用パフォーマンス

(円ヘッジ、運用報酬控除前) / シミュレーション 2021年9月末時点

米国バンクローン アンコンストレインド型 Zodiac ポートフォリオ



当運用戦略	12.73%	3.70%	3.92%	4.26%
参考指数	8.26%	2.83%	3.29%	3.36%
差異	4.47%	0.87%	0.64%	0.90%

#### 2006年9月設定来(年率)

当運用戦略

**4.26%**

参考指数

**3.36%**

差異

**0.90%**

2006年9月評価開始の米ドル建てコンポジットの円ヘッジパフォーマンス(運用報酬控除前)。参考指数としてCredit Suisse レバレッジド・ローン・インデックスを掲載。(当プロダクトは指数に対する運用を行っておりません。)円ヘッジ・リターン算出にあたっては米ドル LIBOR1ヶ月と円 LIBOR1ヶ月の金利差をヘッジコストとみなして控除。当リターンは米ドル建てコンポジット(原コンポジット)をもとに仮想的な円ヘッジ・リターンを算出したものです。このリターンはあくまでシミュレーションであり、実際に円ヘッジを行った国内投資家にとっての投資家リターンを示すものではありません。過去のパフォーマンスは将来の運用成果を保証するものではありません。尚、当運用(Zodiacポートフォリオ)は、投資対象にバンクローンに加え、ハイ・イールド債券、CLOノート等が含まれます。

## バンクローン投資の魅力

魅力 **1**  
高い利回り

世界的な低金利の環境下においても、投資適格未満の発行体への投資を通じて相対的に高い金利収入が見込まれます。

魅力 **2**  
変動金利

発行体の利払いは変動金利型であり、債券投資とは異なり金利上昇リスクは限定的です。

魅力 **3**  
担保の存在と  
高い返済順位

発行体はバンクローン債権者に対して担保を提供、バンクローンは債券や株式に対して高い返済順位を有します。

“

バンクローン運用は、安定した金利収入と元本保全力を特徴としています。バンクローンは変動金利商品であることから、固定利付債券と比較して金利上昇時の耐性力が期待でき、また有担保であることからデフォルト時でも他の債務と比較して債権回収率が高く、これにより相対的に安定したリターンと低いボラティリティの実現が可能です。

## ニューヨーク、シカゴ、ロンドン拠点に人員を配置し、世界のバンクローン市場をカバー

米国

1989年  
運用開始



米国に  
ジャパンスクを置き、  
人員を配置

欧州

2001年  
運用開始



グローバル

2016年  
運用開始

### プロダクト・ラインナップ

- ・バンクローン
- ・CLO
- ・ETF
- ・ESG

## インベスコのバンクローン運用戦略の特徴

1. 世界最大級の運用資産  
バンクローン運用資産総額 約 **4.5** 兆円 \*

2. 業界最大規模の運用チーム  
33名の運用プロフェッショナルを含む、総勢 **100** 名以上の  
バンクローン専任チーム

3. 長期にわたる実績  
**1989**年の運用開始以来、米国、欧州、グローバルで  
幅広いバンクローン運用の実績

2021年9月30日時点、\*1米ドル=111.575円で換算

### 【リスクについて】

当運用は、値動きのある米ドル建てのシニア担保付ローン等への投資を行なうため、組入れたローンの価格の下落や金利動向等のほか、ローン借り手の倒産や財務状況の悪化およびそれらに関する外部評価の変化等により、ローンの価格が変動し、損失を被る可能性があります。したがって、投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、投資価値の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。運用機関の指図に基づく行為により生じた利益および損失はすべて受益者に帰属します。 <主なリスク> ①信用リスク、②価格変動リスク、③担保価値変動リスク、④金利変動リスク、⑤公社債にかかるリスク、⑥流動性リスク、⑦為替変動リスク

### 【費用・税金について】

当運用戦略では、国内特定（金銭）信託口座を通じて、実質的には日本国外のファンドに投資することを前提とします。機関投資家向け合同運用ファンドに投資する場合の運用報酬は0.55%となります。ただし、必ずしも同ファンドに投資を行なうわけではありません。投資一任契約に係る報酬などを加えた総計は、最大0.66%（税込）となります。加えて管理報酬及び費用がかかりますが、当該費用はファンドの運用残高によって変動するため、事前に具体的な料率、金額または計算方法は記載できません。

その他、特定（金銭）信託の管理報酬を受託銀行である信託銀行にお支払いいただく必要がありますので、具体的な料率については信託銀行にご確認下さい。また、組入有価証券の売買時に発生する売買委託手数料や外貨建資産の保管等に要する費用などについては、運用状況や取引量等により変動するものあり、事前に具体的な料率、金額、上限または計算方法等を示すことができません。

上記の費用の合計額については、運用状況などによって変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することができません。

課税について：非課税要件を満たした年金基金のお客様については、非課税となります。

※外貨建資産への投資によって発生する配当、キャピタルゲインに対して、関係国で課される税金を負担する場合があります。

## インベスコ・アセット・マネジメント株式会社

お問い合わせ／マーケティング本部 TEL: 03-6447-3054 ad@tyo.invesco.com

〒106-6114 東京都港区六本木六丁目10番1号 六本木ヒルズ森タワー14階 私書箱115号

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第306号 加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会